

平成30年度
第2回 滋賀県渋滞対策協議会

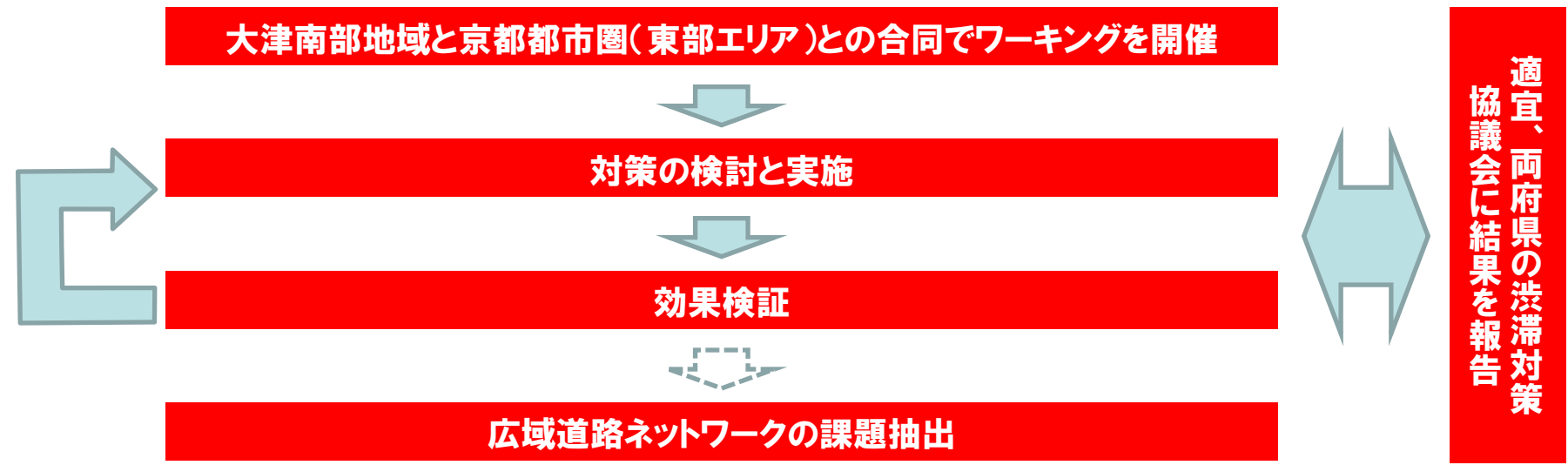
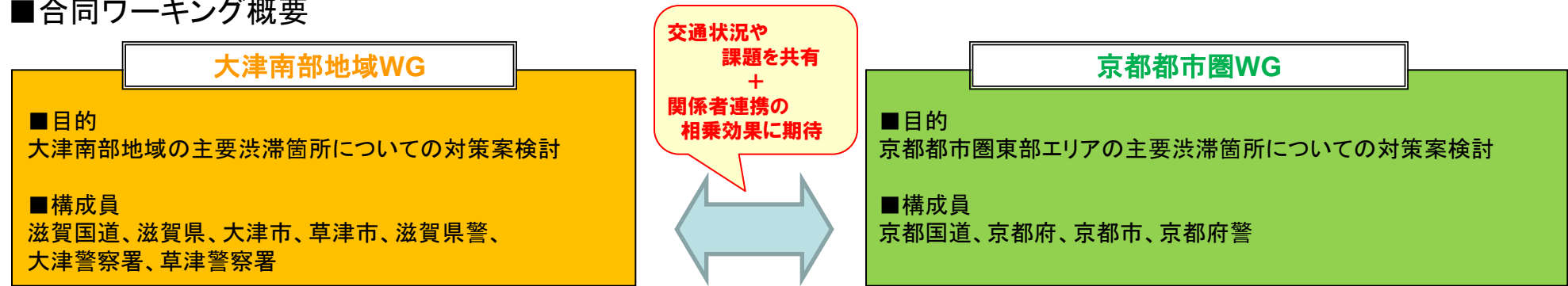
ワーキンググループにおける協議結果の共有

平成31年3月28日(木)

1. 合同ワーキングについて

- 大津南部地域と京都都市圏東部エリアにおいては、府県を跨ぐ山科区～大津市間で旅行速度が低下している状況
- また、H31. 4の阪神高速道路新十条通の無料化など、今後の道路ネットワークの変化に伴う交通の変化の把握や、効果的な対策の検討が必要な状況
- 以上を踏まえ、滋賀県と京都府の両者で交通状況や課題を共有・議論することで効率的に渋滞対策を進めることを目的として合同ワーキングを開催

■ 合同ワーキング概要



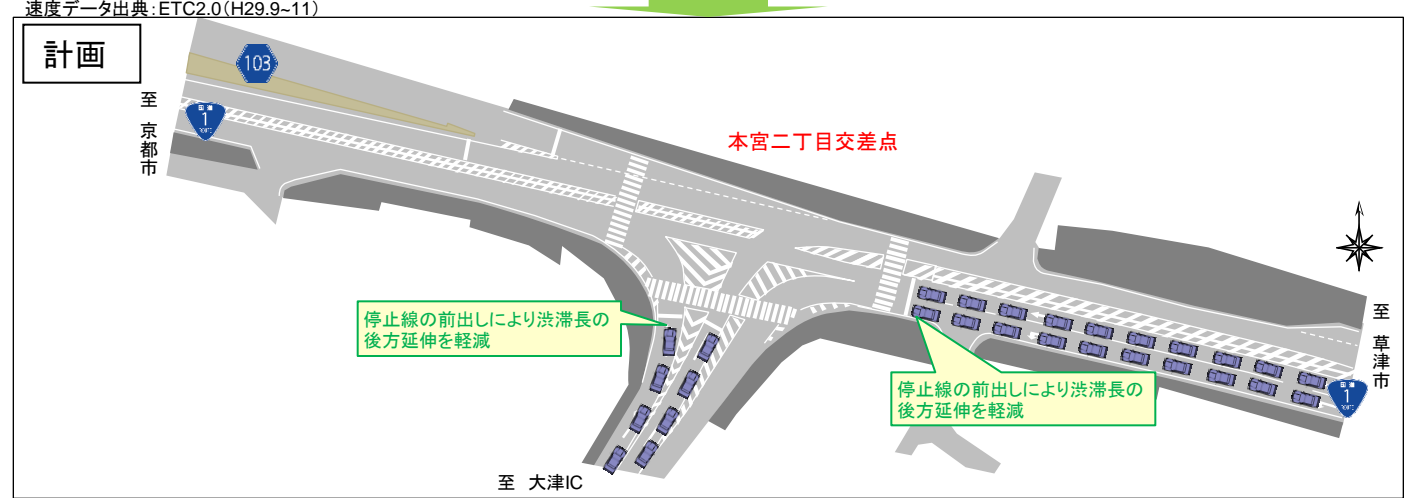
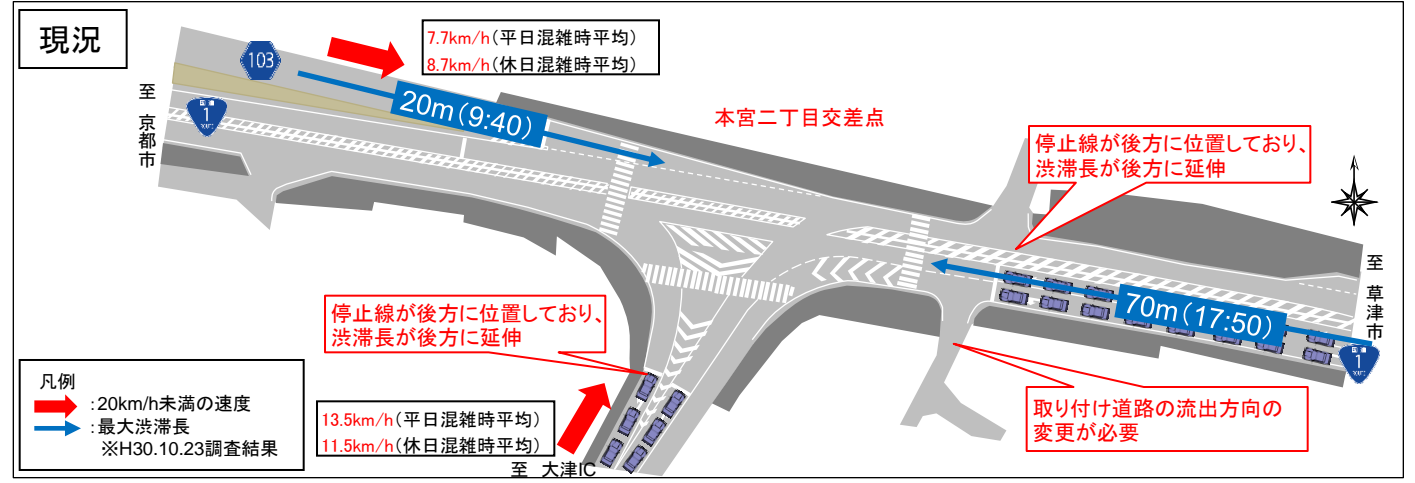
2. 本宮二丁目交差点での渋滞要因・対応方針・渋滞対策メニュー

○変則的道路構造に起因した信号青時間減少という渋滞要因に対し、停止線前出しのピンポイント対策を立案。

■混雑状況・要因・対応方針・対策メニュー

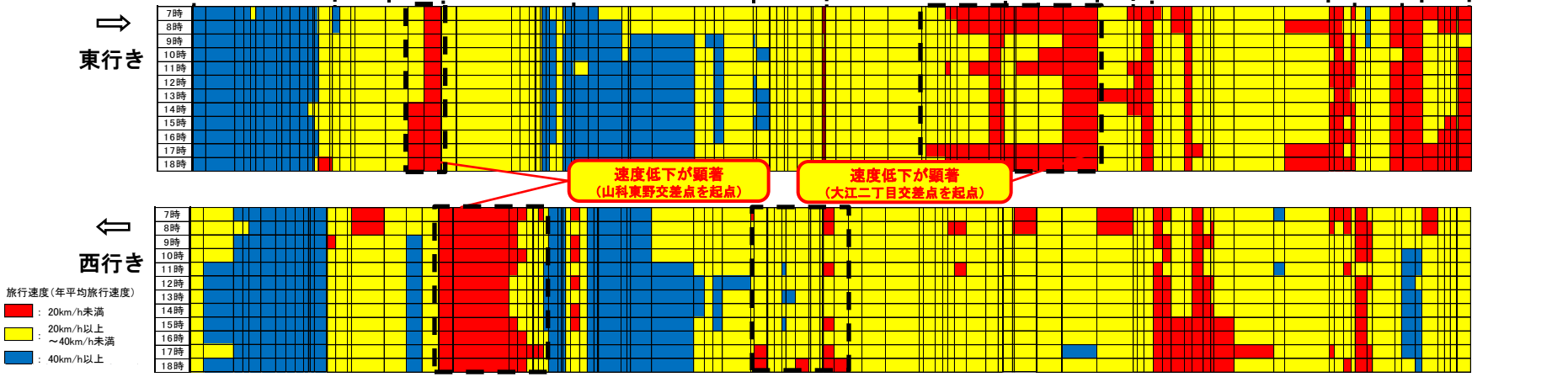
混雑状況	混雑要因	対応方針	対策メニュー(素案)
平日の朝、夕方の時間帯に国道1号京都向で渋滞が発生	変則的な道路構造に起因した信号青時間減少	交差点処理能力向上 (交差点コンパクト化)	【ピンポイント対策】 停止線前出し

■混雑状況及び対策イメージ



3. 大津南部地域・京都市圏東部エリアの現状【路線の旅行速度】

○国道1号には主要渋滞箇所が複数選定され速度低下区間が存在。
 山科区:山科区東野交差点……慢性的渋滞、西行きにおいて速度低下区間が長い
 大津市:大江二丁目交差点……東行き朝夕ピーク時の速度低下が顕著



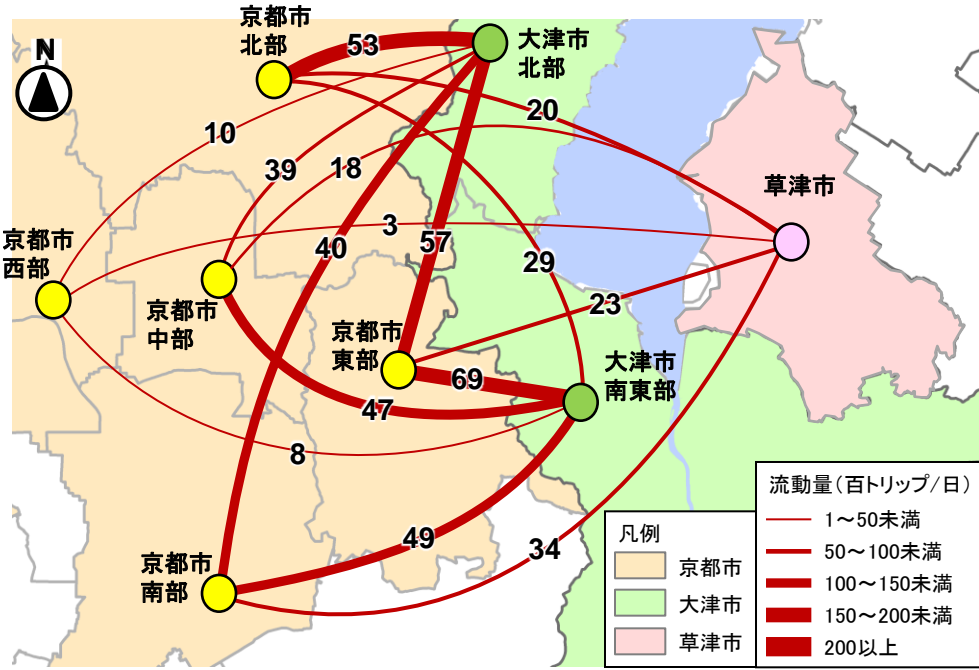
【出典】ETC2.0データ平成29年10月(平日)

4. 大津南部地域・京都市圏東部エリアの現状【都市間の流動】

○京都市～大津市・草津市間の交通流動をみると、京都市東部～大津市南東部の交通流動が最も多く、次いで京都市東部～大津市北部が多い。

○大津市、京都市のそれぞれの自動車流動をみると、府県外移動において両市とも最も多い。

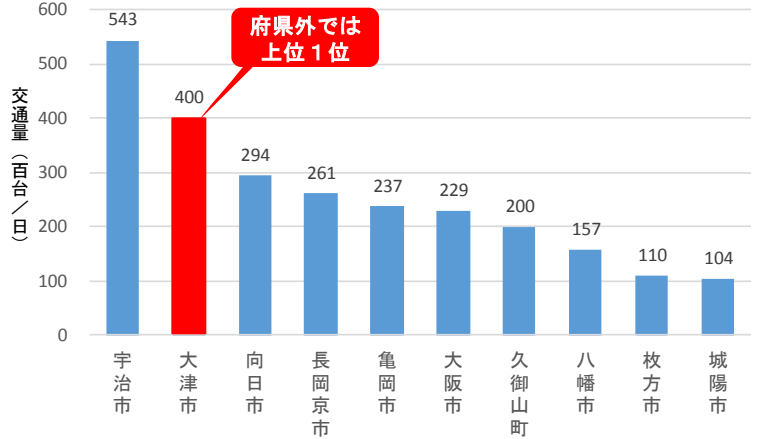
○京都市～大津市・草津市間の交通流動



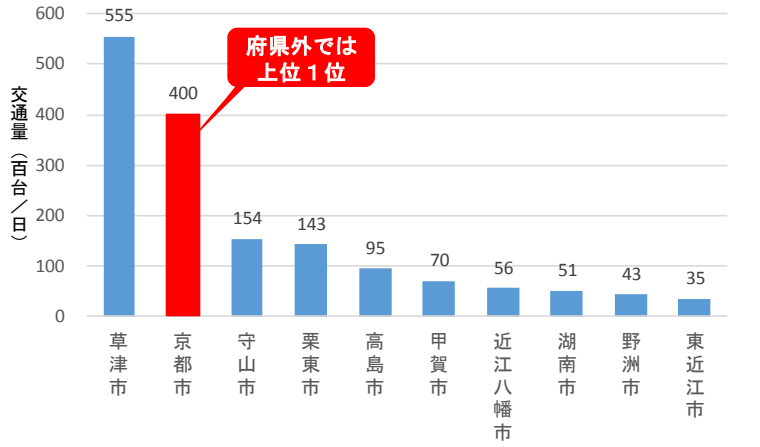
【出典】 道路交通量調査0D (平成27年)

- ※地域区分
- ・京都市北部：右京区、北区、左京区
 - ・京都市中部：上京区、中京区、下京区、東山区
 - ・京都市東部：山科区
 - ・京都市西部：西京区
 - ・京都市南部：南区、伏見区
 - ・大津市北部：大津市(大津市役所以北：Bゾーン184～201)
 - ・大津市南東部：大津市(大津市役所以南：Bゾーン201～215)
 - ・草津市：草津市全域

○京都市に係る市町村別自動車流動上位(10位)



○大津市に係る市町村別自動車流動上位(10位)



【出典】 道路交通量調査0D (平成27年)

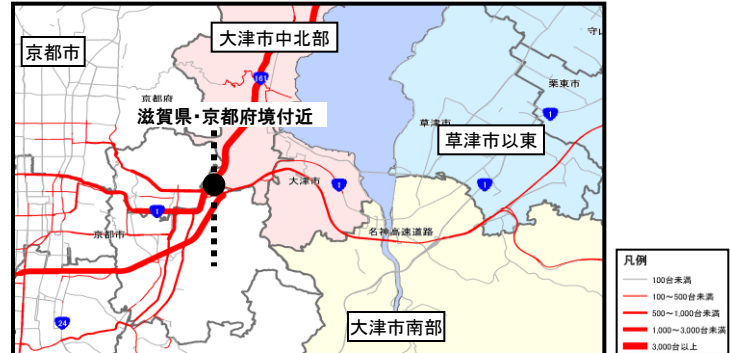
5. 大津南部地域・京都市圏東部エリアの現状【都市間の流動】

○国道1号の滋賀県・京都府境を通過する交通は、約9割が大津市もしくは京都市に発着点を持つ。
 ○国道161号、名神高速道路の滋賀県・京都府境を通過する交通は、約半分が通過交通。

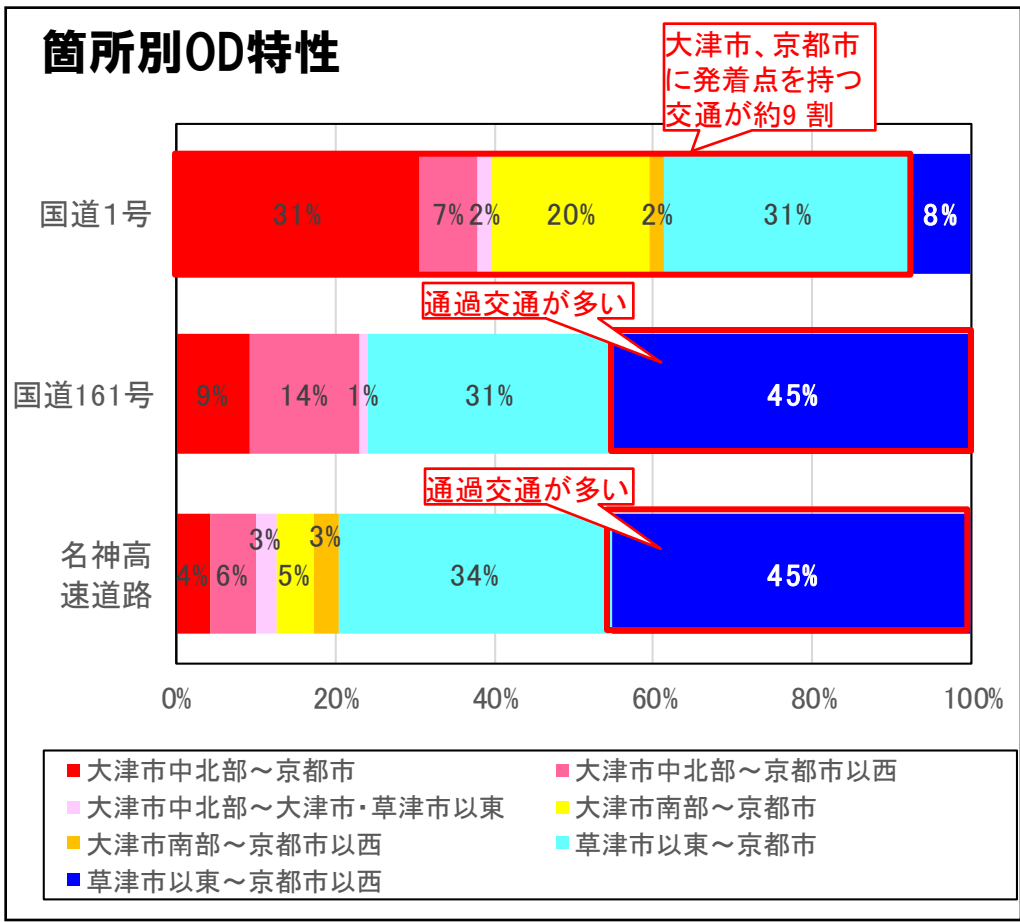
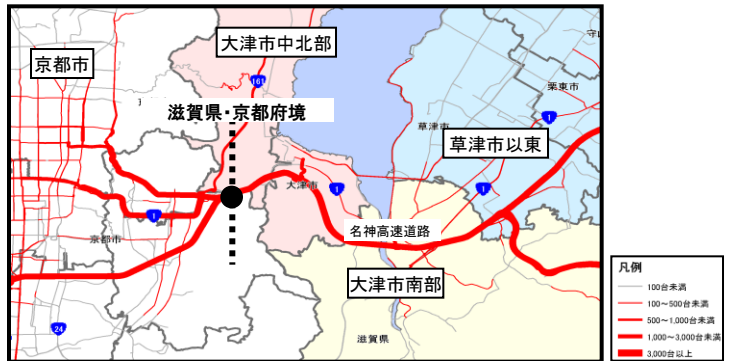
国道1号の流動(府県境)



国道161号の流動(府県境付近)



名神高速道路の流動(府県境)



※草津市以東には高島市、福井県等他県も含まれる

6. 渋滞対策検討の進め方

- 今後は、今回の交通状況・課題の共有を踏まえ、各府県WGで各交差点の詳細な渋滞状況の把握、分析を行い、早期に効果が期待できるピンポイント対策も含め具体的な対策の検討・議論を進める。
- 合同ワーキンググループ会議で継続的に対策の進捗状況について情報を共有し、大津～山科間の渋滞対策の促進を図る。

現況把握・渋滞状況確認

- 交差点の渋滞状況の整理(主要渋滞箇所台帳等)
- 交差点の詳細な交通流動の把握(交通量調査・渋滞調査等)

交差点単位での詳細な分析

- 交差点前後の速度や急制動等の車両挙動(ETC2.0分析等)
- 交差点の構造(交差点の需要率、滞留長等の検討他) 等

渋滞対策の検討

- 早期の実施、効果が期待できるピンポイント対策
- 交差点全体の抜本的な対策(関係道路管理者間の協力)
- 渋滞緩和・解消が期待できる関連事業の推進 等

7. 合同ワーキングの議事概要

○合同WGの目的について了承を得た。

○渋滞短期対策の今年度の取り組み内容について共有を行った。

- ・国道1号本宮二丁目交差点の交差点コンパクト化

○国道1号等の交通流動特性について、ETC2.0データによるOD特性を提示し、広域道路ネットワークの課題について共有を行った。

○渋滞要因・対策の検討に際しては、大型車と小型車などの車種の違いなど交通の質にも着目すること、交差点単体だけではなく、路線・エリアの視点も考慮していく必要があるとの指摘があった。

○大津南部地域と京都都市圏東部エリアについて、渋滞対策を検討する上での課題を両者で共有していくために、今後も継続的に合同WGを開催していくことでの了承を得た。